

令和 6 年度 宮崎県優良工事表彰

受賞工事紹介

(知事賞・部長賞・発注機関長賞)

令和 6 年 9 月

宮崎県環境森林部・農政水産部・県土整備部

目次

1	宮崎県知事賞（5件）	・ ・ ・ ・ ・	1
2	環境森林部長賞（1件）	・ ・ ・ ・ ・	6
3	農政水産部長賞（1件）	・ ・ ・ ・ ・	7
4	県土整備部長賞（3件）	・ ・ ・ ・ ・	8
5	発注機関長賞（38件）	・ ・ ・ ・ ・	10

知事賞(環境森林部)

工 事 名： 令和4年度 自然公園等総合整備事業
九州自然歩道（高千穂峡コース）D工区

施 工 者： 富高工業株式会社

工事概要： 遊歩道復旧延長	L = 1 2 5 . 8 m
転石処理工	V = 1 , 9 7 9 . 6 m ³
石積工	A = 5 7 5 . 3 m ²
排水工	1 式
構造物取壊工	1 式
防護柵工	L = 2 4 0 . 6 m

発 注 者： 西臼杵支庁

—完成写真—



【取組の概要】

- ①本工事は、県内有数の観光地である高千穂峡に位置する九州自然歩道の災害復旧工事である。同遊歩道は国内外から観光客が訪れる場所であるが、安全対策などを行いトラブルもなく無事故で春休みの観光シーズン前に工事を完成させた。
- ②大雨による河川の増水により、遊歩道内へ多量の流木漂着が懸念されることから、速やかな流木撤去ができるよう、計画高及び幅員拡幅の提案を行った。その提案に基づき設計変更が行われ、小型重機・運搬機械が乗り入れられるようになり早期の遊歩道開放が可能となった。併せて、遊歩道内の勾配が緩やかとなり、遊歩道利用者の安全性・快適性が向上した。
- ③国内外からの観光客に対応するため、日本語・英語・中国語・韓国語の四力国語表記の工事看板を設置するとともに、工程に沿った規制内容の標識を四力国語で随時掲示するなど、きめ細やかな安全対策を講じた。
- ④現場付近に施工状況見学のデッキを設置し、要望に応じて県民等に工事内容の説明を行うとともに、地元小学生を対象に見学会を実施し、工事への興味や理解を深めた。また、現場入口付近に、工事完成予想図と毎月の進捗状況写真を掲示し、地域住民等にも進捗状況が分かるよう配慮した。
- ⑤高千穂峡観光業関係者と細やかに打合せを行い、観光客の動向や観光バスの進入等に配慮した工程管理を行うとともに、イベント開催時は、掘削機械の使用停止や工事車両の乗り入れを控えるなど大会運営に協力した。
- ⑥リモートで確認できる通信カメラを設置し、大雨による河川増水などの状況をいち早くかつ安全に把握し、現場養生対策や重機撤去の安全管理対策を行った。

知事賞（農政水産部）

工 事 名： 令和4年度畑地帯総合整備事業（担手育成）
高才第3地区1工区

施 工 者： 株式会社首藤組

工事概要： 整地工（畑） A = 2. 7 0 h a
道路工 L = 2 9 1. 0 m
排水路工 L = 4 6 3. 1 m

発 注 者： 北諸県農林振興局

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本事業は、担い手への農地の集積・集約や効率的かつ収益性の高い土地利用型農業など「スマート農業」の推進に向けて、不整形かつ狭小な農地の区画拡大や計画的な営農に必要な畑地かんがい施設を整備し、大型機械利用による生産性の高い農地にするため、畑地かんがい及び区画整理と併せて農道や用排水路を一体的に整備するほ場整備事業である。

本工区は、都城市中心部より東側、旧山之口町と三股町に跨がって位置する畑地帯で、畑地のほ場整備を導入することにより、年間を通じた計画的な営農や水を有効利用した施設野菜等への転換・規模拡大を推進し、高齢化に伴い担い手の育成を行うなど、農業経営の安定化を図るために必要不可欠な工事である。

このため、地元住民に対しては、工事看板を通じて十分な理解と周知を行う他、工事進捗状況には毎月情報発信に努め、必要に応じて現地にて地元協議を行っており、ほ場周辺の環境対策として排水路機能回復に努め、農作物への被害を軽減させるなど、積極的に地域密着方の工事を進めた。また、現場施工では、ICT建設機械の技術を活用し、技術者育成に努めたことで、施工性・正確性の高い技術で設計基準を満足させており、表土整地の雑物除去の徹底や工期短縮による年内の作付けを可能とするなど、営農面にも配慮された工事である。

さらには、県が進める小学校の社会学習に対して、施工動画の提供など全面協力しており、将来の担い手育成・確保の取組に貢献された工事として、他の工事の模範として高く評価される。

知事賞（県土整備部）

工 事 名： 令和3年度 特緊砂防 第901-1号
鹿野遊谷川 砂防工事その2

施 工 者： 株式会社相生組

工事概要： 吹付砕工（600） $A = 1,087\text{m}^2$
吹付砕工（300） $A = 741\text{m}^2$

発 注 者： 日向土木事務所

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は、令和2年9月7日台風第10号による大雨の影響により土砂崩れが発生したため、崩壊した斜面をこれ以上崩壊しないように法面を補強する法枠工事である。

法枠工の施工にあたり、現場は長大法面で起伏があり、現地に不安定な土砂がある、大変施工の困難な現場であったが、施工方法や安全対策等に十分配慮し、ICT技術提案や創意工夫を行い、無事故で工事を完成させた。

具体的には、ICT技術を活用し、測量を実施し現場管理を実施したことでICT無人化施工により、現場での危険な作業を安全に施工することができた。

現場は湾曲した斜面での施工が課題であったが、蓄積されたノウハウを最大限活用し、法枠工の鉄筋配置計画を見直し、現地での資材加工を行い、法面に密着できるよう施工することができた。

また、現場は再度土砂崩壊が発生するおそれがあったため、24時間監視できるようモニタリングカメラを設置することで出水時の状況を把握することが出来ること、かつ出水後の初動対応に寄与した。

さらには、地域住民と共同で美化活動を実施したり、コロナ禍においても積極的に地元へ工事の進捗状況を発信するなどしたことで、地域住民からも苦情もなく工事を終えることができた。

知事賞（県土整備部）

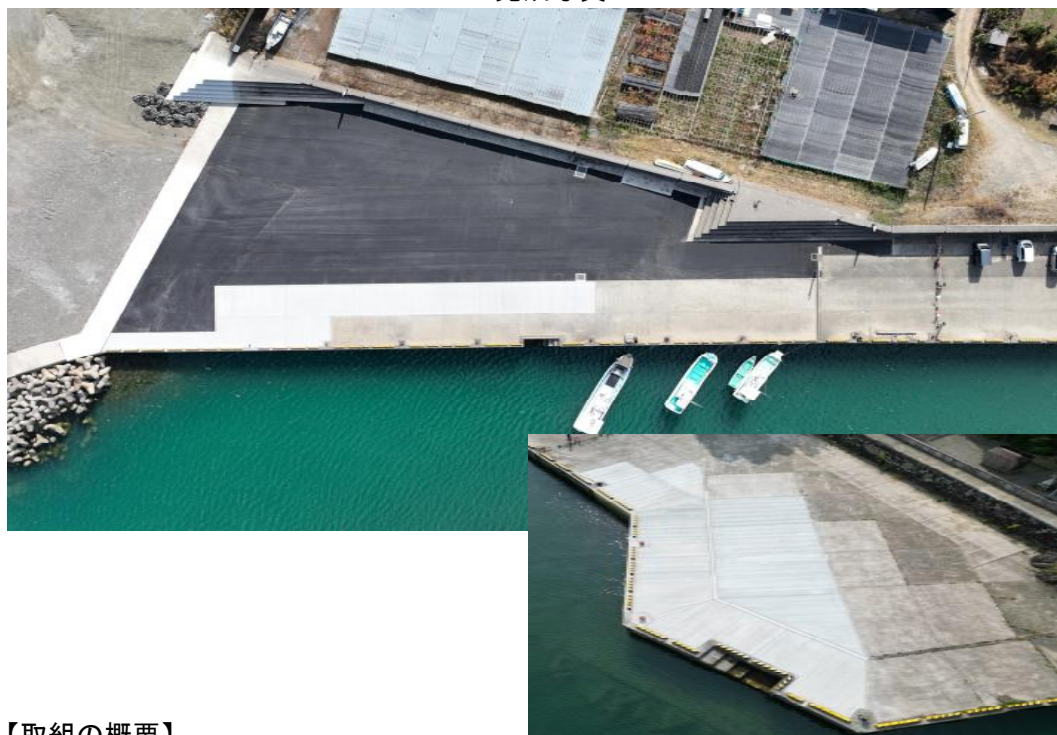
工 事 名： 令和4年度 4 港湾災 第3-1号
美々津港 防砂堤外災害復旧工事

施 工 者： 宮前建設株式会社

工事概要： 【防砂堤】復旧延長 $L=35.4\text{m}$
 本体方塊 $N=35$ 個
 上部工 $V=320\text{m}^3$
 【物揚場】復旧延長 $L=65.4\text{m}$
 コンクリート舗装 $A=336\text{m}^2$
 【取付護岸】復旧延長 $L=31.2\text{m}$
 コンクリート舗装 $A=155\text{m}^2$

発 注 者： 北部港湾事務所

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は、令和2年9月7日台風第10号による大雨の影響により土砂崩れが発生したため、崩壊した斜面をこれ以上崩壊しないように法面を補強する法枠工事である。

法枠工の施工にあたり、現場は長大法面で起伏があり、現地に不安定な土砂がある、大変施工の困難な現場であったが、施工方法や安全対策等に十分配慮し、ICT技術提案や創意工夫を行い、無事故で工事を完成させた。

具体的には、ICT技術を活用し、測量を実施し現場管理を実施したことでICT無人化施工により、現場での危険な作業を安全に施工することができた。

現場は湾曲した斜面での施工が課題であったが、蓄積されたノウハウを最大限活用し、法枠工の鉄筋配置計画を見直し、現地での資材加工を行い、法面に密着するよう施工することができた。

また、現場は再度土砂崩壊が発生するおそれがあったため、24時間監視できるようモニタリングカメラを設置することで出水時の状況を把握することが出来ること、かつ出水後の初動対応に寄与した。

さらには、地域住民と共同で美化活動を実施したり、コロナ禍においても積極的に地元へ工事の進捗状況を発信するなどしたことで、地域住民からも苦情もなく工事を終えることができた。

知事賞（県土整備部）

工 事 名： 令和3年度 第3053-7-4号
新宮崎県体育館建設電気工事（1期）

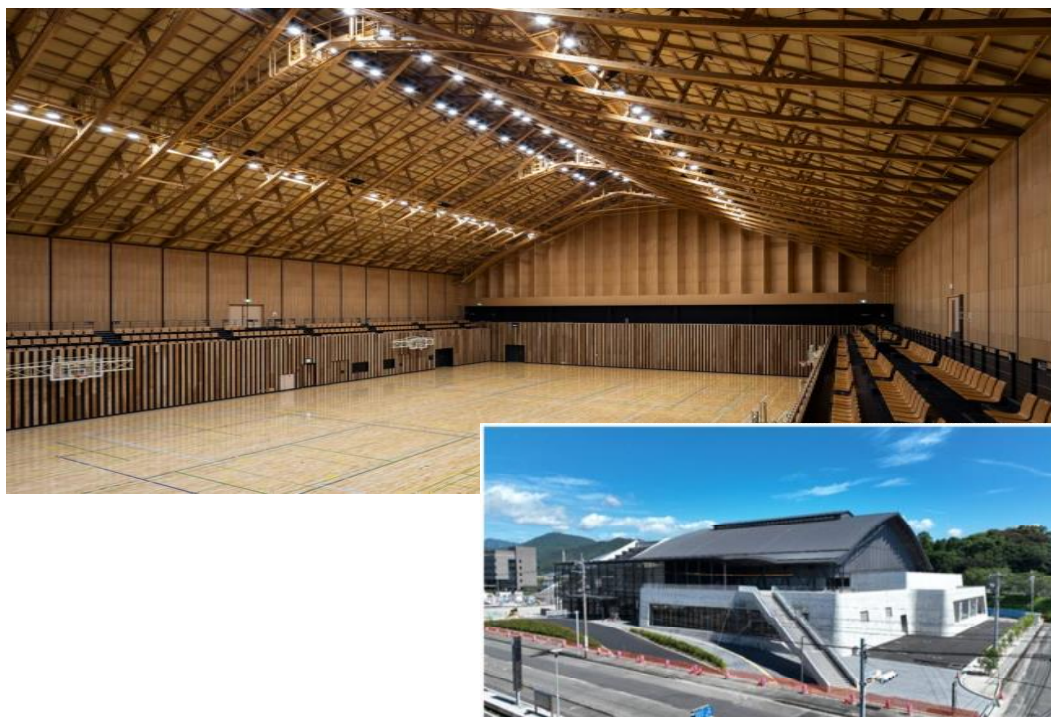
施 工 者： 三桜電気工業株式会社

工事概要： 体育館（サブアリーナ）
鉄筋コンクリート造 一部木造 一部鉄骨造
地上2階建 施工部分床面積5,223㎡

上記に係る電気工事

発 注 者： 営繕課

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は、令和9年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主要会場となる新宮崎県体育館（サブアリーナ）の建設に係る電気工事である。

様々な屋内運動競技で使用する体育館の特性上、アリーナの照明については、競技種目ごとに明るさや照明範囲を柔軟に切替えられるようにする必要があるが、合理的で運用しやすい点灯パターンを綿密に検討して照明制御システムを構築し、供用後に施設管理者が容易に操作できるようにした。

また、施工にあたっては、狭隘な設備スペース内の機器の収まりや施工手順について、3次元CADを活用して、関連工事施工者間で連携して事前に問題解決を図り、円滑に施工を進めた。

このほか、受変電設備への小動物侵入防止対策を施す等の電気安全性への配慮や、次期工事の施工性向上のための工夫など、工事完成後のことも想定した様々な取組を積極的に取り入れ、安全で高品質な施工を実現したことは、他の工事の模範として高く評価される。

環境森林部長賞

工 事 名： 令和3年度 災害関連緊急治山事業
磯平（1工区）

施 工 者： 旭建設株式会社

工事概要： 法枠工（現場吹付法枠） $A = 3,313.6 \text{ m}^2$
ロープ伏工 $A = 767.3 \text{ m}^2$
ワイヤー連結地山補強土工 $A = 1,203.4 \text{ m}^2$
横ボーリング工 $L = 280.0 \text{ m}$
仮設工 1式

発 注 者： 中部農林振興局

－完成写真－



【取組の概要】

- ①本工事は、宮崎市内海の海岸沿いの治山工事である。令和3年9月の台風第14号による大雨により山腹が崩壊し、土砂がJR日南線及び国道220号に流出した。本工事箇所と保全対象が近接しているため、工事関係者及び関係車両の安全確保など細心の注意が求められた現場であったが、無事故で完成させた。
- ②当該現場は、旭建設(株)のほか隣接する箇所でも他2社が同時に施工する必要があったが、安全協議会を設置して安全衛生管理を徹底し、3社で情報共有会議や現場の工程管理等を適宜行い、トラブルも無く工事を完成させた。
- ③イベントへの参加や、地元小学校で防災教室を開催するなど地域との交流を活発に行うとともに、近接する地区の津波避難経路の草刈りや整備を行い地元からも感謝された。
- ④重要なインフラ（JR日南線、国道）が近接しており、降雨による濁水が流出するのを抑制するため、大型土のうやブルーシートなどを用いるなどの対応を行うとともに、工事現場内への国道からの入口での安全確保やJRの踏切における時間規制などの遵守を徹底した。また、工事看板に反射シートやライトを使用するなどの安全対策を行った結果、JR及び国道の利用者及び管理者とのトラブルや事故も無かった。
- ⑤治山事業のイメージアップ看板を設置し、本現場の取組への理解を深めることに貢献した。

農政水産部長賞

工 事 名： 令和4年度 畑地帯総合整備事業（担手育成）
後川内 1 期地区 2 工区

施 工 者： 株式会社高山建設

工事概要： 整地工（畑） A = 4. 0 3 h a
道路工 L = 7 7 3. 7 m
排水路工 L = 1, 0 2 7. 2 m

発 注 者： 西諸県農林振興局

－ 完成写真 －



【取組の概要】

本工事は高原町大字後川内において実施した畑のほ場整備工事である。

当地区内の農地は急峻な地形かつ小区画、不整形な形状のため、作業効率が悪く、営農に支障を来していたことから、本工事において農業生産基盤を整備することにより、農業機械の大型化や担い手農家への農地集積・集約化など効率性、収益性の高い農業経営への転換が図られることが期待されている。

個人財産（農地）を扱うほ場整備工事は、良質な土壌、均一な畑面勾配の確保など将来の地域営農に特に配慮する必要がある、綿密な地元調整を要するものであり、さらに本工事は広域な施工区域かつ起伏差の大きい地形条件のため、複雑な土量操作（表土扱い、基盤切盛）が求められる難易度の高い工事であったが、当該施工者は、きめ細やかな地形測量による精度の高い土量計算を実施し、畑面仕上がり高さの変更にも迅速に対応するなど工事の円滑な実施を可能とした。加えて整地工実施に際し、レーザーレベラーを導入し、標高データに基づくガイドに従った重機操作により、作業員の経験に左右されない一定の品質確保を図った。

また、降雨時の濁水対策として、施工区域内に独自の沈砂池を設置するなど周辺地域の環境対策にも高い意識を持って取り組んだ。

このように地域環境への貢献をしつつ高い品質の工事を完成させたことはことは、他の工事の模範となるものとして高く評価されるものである。

県土整備部長賞

工 事 名： 令和4年度 4 河川災 第504号
花の木川 河川災害復旧工事

施 工 者： 株式会社徳満建設

工事概要： 復旧延長 L L = 5 9 . 8 m R L = 4 4 . 0 m
ブロック張 A = 7 2 4 m²
根継工 L = 2 9 m
矢板基礎工 L = 2 9 m
水路工 L = 4 7 . 8 m

発 注 者： 都城土木事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

本工事は、令和4年9月の台風14号で被災した花の木川の災害復旧工事である。

施工にあたっては、浅瀬に残された魚を安全な場所へ移す等、河川環境に配慮しながら行った。

また、遠隔臨場システムを社内の連絡調整に活用することで、円滑な工事の進捗を図った。

さらに、3次元設計データを作成し現場の端末へデータを取り込むことで、出来形の精度向上を図るとともに、作業員の作業効率向上も図った。

以上の点について、他の工事の模範として高く評価される。

工 事 名： 令和4年度 県単公防 第3-1号
宮崎県総合運動公園 北遊水池 1号排水機場改築工事

施 工 者： 株式会社志多組

工事概要： 鋼管杭 N=52.0本 (φ600) L=8.5~15.0m
コンクリート工 V=545m³
自然石石張工 A=469m²
仮設鋼矢板 N=274枚

発 注 者： 宮崎土木事務所

— 完成写真 —



【取組の概要】

当該工事は、構造的に大変複雑で施工事例も多くないため施工計画等の立案が難しいものであった。

そのような中、複雑な構造を目視化するため3Dプリンターにより模型を作成することで、完成後の形状をイメージする事ができ配筋作業等の施工手順を確認することで技術的困難を克服して工事を完成させた。

また、公園内で複数の工事が同時期に行われていたが、安全協議会の会長として公園利用者にも配慮した工程調整、安全管理を実施した。

以上により、他の建設工事の模範となる工事であった。

県土整備部長賞

工 事 名： 令和4年度 4道路災 第656号
県道宇納間日之影線外1路線 岩井川地区 道路災害復旧工事

施 工 者： 株式会社竹尾組

工事概要： 【第655号】復旧延長 $L=65.3\text{m}$ 、大型ブロック $A=219\text{m}^2$
鉄筋挿入工 $L=181.0\text{m}$ 、モルタル吹付 $A=233\text{m}^2$
【第656号】復旧延長 $L=16.0\text{m}$ 、ブロック積 $A=43\text{m}^2$
【県単災】復旧延長 $L=16.0\text{m}$ 、ふとんかご工 $A=3.0\text{m}^2$

発 注 者： 西臼杵支庁

— 完成写真 —



【第655号】



【第656号】

【県単災】

【取組の概要】

本工事は、令和4年9月の台風14号により被災した3箇所の道路災害復旧工事である。

河川に面した現場では、法面からの湧水への迅速な対応や施工時の斜面安定を図るため鉄筋挿入工を併用しながら工事を迅速に進めた。

また、工事期間中に時間規制が生じた際には率先して地元調整を行った。このように、河川内工事や工事現場が3箇所に点在しているなど制約を受ける条件下でも工程を遅らせることなく完成させたことは他の工事の模範となるものである。

発注機関長賞（環境森林部）

- ① 工 事 名：令和4年度 林地荒廃防止施設災害復旧事業
北又江の原

施 工 者：株式会社内山建設

工事概要：谷止工（コンクリート） 1基
 $L=59.5\text{m}$
 $H=8.5\text{m}$
 $V=1,083.5\text{m}^3$
 仮設工 1式



－完成写真－

発 注 者：東臼杵農林振興局

- ② 工 事 名：令和4年度 災害関連緊急治山事業
真沙道

施 工 者：株式会社末吉建設

工事概要：溪間工 谷止工（コンクリート） 1基
 $V=295.6\text{m}^3$
 山腹工 伏工（植生マット工）
 $A=4,516.9\text{m}^2$
 水路工（植生土のう水路工）
 $L=40.5\text{m}$
 仮設工 1式



－完成写真－

発 注 者：児湯農林振興局

- ③ 工 事 名：令和4年度 林地荒廃防止事業
牟礼

施 工 者：有限会社竹下建設

工事概要：山腹工 $A=0.14\text{ha}$
 のり切工 $V=2,316\text{m}^3$
 土留工（木製）
 $L=51.5\text{m}$
 $H=3.3\text{m}$
 $A=159.45\text{m}^2$
 暗渠工 $L=74.4\text{m}$
 緑化基礎工 1式
 植生工 1式



－完成写真－

発 注 者：西諸県農林振興局

- ④ 工 事 名：令和4年度 災害関連緊急治山事業
金御岳

施 工 者：株式会社清水組

工事概要：谷止工（コンクリート） 1基
 $L=26.0\text{m}$
 $H=8.0\text{m}$
 $V=348.5\text{m}^3$
 伏工（植生マット）
 $A=1,552.8\text{m}^2$



－完成写真－

発 注 者：北諸県農林振興局

⑤ 工 事 名：令和4年度 林地荒廃防止事業
糺ヶ宇戸

施 工 者：有嶋建設株式会社

工事概要：土留工（木製）
L=9.5m
H=3.97m
山腹工 1式
仮設工 1式

発 注 者：南那珂農林振興局



—完成写真—

発注機関長賞（農政水産部）

- ① 工 事 名：令和５年度 中山間地域総合整備事業
兼ヶ瀬地区１工区

施 工 者：有限会社丸水工業

工事概要：送水管（水道配水用ポリエチレン管）φ５０
L＝３４４．５ｍ
排泥管（耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管）φ１００
L＝４１．９ｍ
配水管（水道配水用ポリエチレン管）φ１５０
L＝６０３．５ｍ
配水池廻り配管（水道配水用ポリエチレン管）φ５０～１５０
L＝７．２５ｍ

発 注 者：西臼杵支庁

－ 完成写真 －



- ② 工 事 名：令和４年度 ため池等整備事業（危険ため池）
中地区１工区

施 工 者：株式会社鈴木組

工事概要：堤体工 L＝７６．５ｍ

発 注 者：中部農林振興局

－ 完成写真 －



- ③ 工 事 名：令和４年度 ため池等整備事業（危険ため池）
野中地区２工区

施 工 者：株式会社河野組

工事概要：第１ため池
堤体工 L＝８．７０ｍ
堤体盛土工 V＝４２．０ｍ³
堤体護岸工 A＝１０６．０ｍ²
第３ため池
堤体工 L＝６０．４ｍ
堤体盛土工 V＝６５０．０ｍ³
堤体護岸工 L＝４８４．０ｍ²

発 注 者：南那珂農林振興局

－ 完成写真 －



- ④ 工 事 名：令和４年度 畑地帯総合整備事業（担手支援）
通山・坂の上地区１工区

施 工 者：株式会社ビズ

工事概要：管水路工 L＝１，０９６．８２ｍ

発 注 者：児湯農林振興局

－ 完成写真 －



発注機関長賞（農政水産部）

⑤ 工 事 名：令和４年度 ため池等整備事業（危険ため池）
川島第一・第二地区３工区

施 工 者：株式会社坂本組

工事概要：堤体工 $N = 1$ 式
地盤改良工 $V = 1, 483.0m^3$
仮設工 $N = 1$ 式

発 注 者：東臼杵農林振興局

－ 完成写真 －



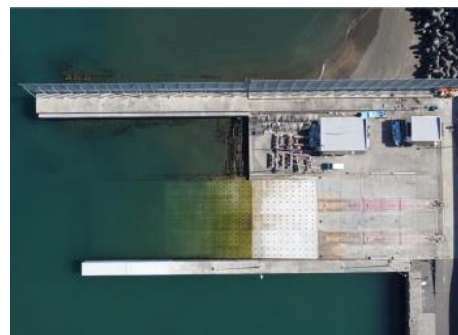
⑥ 工 事 名：令和４年度 機能保全第８－７－３－号
川南漁港 南船揚場補修工事

施 工 者：大和開発株式会社

工事概要：南船揚場護岸 $L = 20.0m$
張ブロック $A = 1,023m^2$

発 注 者：中部港湾事務所

－ 完成写真 －



⑦ 工 事 名：令和４年度 機能強化第１０－３－５－号
大堂津漁港 -5.0m岸壁改良工事 １工区

施 工 者：河野・児玉経常建設共同企業体

工事概要：上部工 $L = 28.8m$
アンカー工 $N = 11$ 本
係船柱 $N = 6$ 基
防舷材 $N = 5$ 基
車止 $L = 18.0m$

発 注 者：油津港湾事務所

－ 完成写真 －



⑧ 工 事 名：令和４年度 ４漁港災第２号
北浦漁港 漁港災害復旧工事 その２

施 工 者：株式会社山崎産業

工事概要：復旧延長 $L = 134.0m$
コンクリート舗装 $A = 663.0m^2$
施工目地 $L = 272.0m$
カッター工法収縮目地 $L = 64.0m$
横施工目地 $L = 69.0m$
舗装版破碎 $A = 663.0m^2$
殻運搬 $V = 138.0m^3$

発 注 者：北部港湾事務所

－ 完成写真 －



発注機関長賞（県土整備部）

- ① 工 事 名： 令和4年度 第13-7-1号
県営出来島団地1号棟 建設主体工事

施 工 者： 株式会社志多組

工事概要： 住棟 鉄筋コンクリート造7階建
延床面積 1,985㎡
上記に係る建築工事

－ 完成写真 －



発 注 者： 営繕課

- ② 工 事 名： 令和5年度 4河川災 第666号
下野川 河川災害復旧工事

施 工 者： 株式会社奈須建設

工事概要： 【第666号】
復旧延長 L = 34.7m
ブロック積 A = 135㎡
根固めブロック1.0t N = 23個
コンクリート底張工 V = 30m³
帯工コンクリート N = 1基

－ 完成写真 －



発 注 者： 西臼杵支庁

- ③ 工 事 名： 令和4年度 4道路災 第657号
県道北方高千穂線 七折地区 道路災害復旧工事

施 工 者： 木田建設株式会社

工事概要： 【第657号】
復旧延長 L = 24.0m
落石防止網工 A = 451㎡
落石撤去 V = 345m³
モルタル充填工 V = 21m³
【県単災】
復旧延長 L = 3.1m
ブロック積 A = 8.6㎡

－ 完成写真 －



発 注 者： 西臼杵支庁

- ④ 工 事 名： 令和4年度 空港道改 第4-1-4号
県道学園木花台本郷北方線 山下工区（仮称）
山下橋下部工工事

施 工 者： 大和開発株式会社

工事概要： A1橋台 H = 12.5m
基礎形式 直接基礎
橋 長 L = 397.0m
道路幅員 W = 6.0m (14.0m)
工事用道路工 N = 1式

－ 完成写真 －



発 注 者： 宮崎土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ⑤ 工 事 名： 令和4年度 道路橋補 第70-1-1-1号
国道269号 青井岳大橋 橋梁補修工事

— 完成写真 —

施 工 者： 株式会社緒方塗装

工事概要： 橋長 $L = 135.0\text{m}$

幅員 $W = 6.0\text{m}$ (9.75m)

塗装塗替 $A = 1,038\text{m}^2$



発 注 者： 宮崎土木事務所

- ⑥ 工 事 名： 令和5年度 防災急傾 第12-1-0号
岩下一地区 急傾斜地崩壊対策工事

— 完成写真 —

施 工 者： 有限会社東浜興業

工事概要： 延長 $L = 40.0\text{m}$

落石防護網工 $A = 385\text{m}^2$

軽量法枠工 $A = 859\text{m}^2$



発 注 者： 日南土木事務所

- ⑦ 工 事 名： 令和4年度 特補連砂 第2-1号
平原谷川 砂防堰堤工事

— 完成写真 —

施 工 者： 松浦建設株式会社

工事概要： 主堰堤工 $H = 6.5\text{m}$

$L = 34.8\text{m}$

$V = 726\text{m}^3$

地盤改良工 $V = 42\text{m}^3$



発 注 者： 串間土木事務所

- ⑧ 工 事 名： 令和4年度 補助交安 第1-4-1-1号
国道269号 今町工区 歩道整備工事

— 完成写真 —

施 工 者： 真栄産業株式会社

工事概要： 施工延長 $L = 278.0\text{m}$

道路幅員 $W = 7.0\text{m}$ (13.0m)

側溝工 $L = 412.5\text{m}$

縁石工 $L = 545.1\text{m}$

舗装工 $A = 1,636.0\text{m}^2$



発 注 者： 都城土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ⑨ 工 事 名： 令和4年度 防災急傾 第915-3号
城山西側地区 急傾斜地崩壊対策工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 叶工業株式会社

工事概要： 延 長 $L = 34.8\text{m}$
土留防護柵 $L = 34.8\text{m}$
 $L = 17.0\text{m}$ $H = 2.6\text{m}$
 $L = 17.8\text{m}$ $H = 2.3\text{m}$



発 注 者： 都城土木事務所

- ⑩ 工 事 名： 令和4年度 防安交安 第40-5-2-1号
国道221号 下麓工区 歩道整備工事

－ 完成写真 －

施 工 者： コスモ緑化建設有限会社

工事概要： 施工延長 $L = 140.0\text{m}$
道路幅員 $W = 2.0 \sim 2.5\text{m}$
排水工 $L = 160.0\text{m}$
縁石工 $L = 116.5\text{m}$
舗装工 $A = 549.0\text{m}^2$
区画線工 $L = 144.9\text{m}$
構造物取壊工 $N = 1\text{式}$



発 注 者： 小林土木事務所

- ⑪ 工 事 名： 令和4年度 交付建設 第936-16-1号
県道えびの高原小田線末永工区（2-2工区）
道路改良工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 株式会社坂下組

工事概要： 施工延長 $L = 130.0\text{m}$
施工幅員 $W = 5.5 (7.0)\text{m}$
補強土壁工 $A = 857\text{m}^2$
函渠工 $B = 3.5\text{m}$ $H = 3.2\text{m}$
仮橋 $N = 1\text{式}$



発 注 者： 小林土木事務所

- ⑫ 工 事 名： 令和4年度 橋梁更新 第3-2-5号
県道高鍋高岡線 本庄橋工区 旧橋撤去工事
（その3）

－ 完成写真 －

施 工 者： 株式会社長嶺建設

工事概要： 下部工撤去 $N = 1\text{式}$
平ブロック張工 $A = 152\text{m}^2$
護床ブロック（2t） $N = 282\text{個}$



発 注 者： 高岡土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

⑬ 工 事 名： 令和4年度 緊災防債 第6606-1号
深年川 護岸工事

— 完成写真 —

施 工 者： 日栄建設株式会社

工事概要： 延長 $RL=91\text{m}$
コンクリートブロック張工 $A=680\text{m}^2$
小口止工 $N=2\text{基}$
張芝工 $A=205\text{m}^2$



発 注 者： 高岡土木事務所

⑭ 工 事 名： 令和3年度 2道路災 第148-7号
国道219号 木之口工区 道路災害復旧工事
(その2)

— 完成写真 —

施 工 者： 河野建設株式会社

工事概要： 延長 $L=87.8\text{m}$
幅員 $W=6.5(8.0)\text{m}$
地山補強基礎工 $L=32.4\text{m}$
補強土壁工 $A=280.0\text{m}^2$
L型擁壁工 $L=18.0\text{m}$
排水工 $L=55.4\text{m}$
床固工 $N=1.0\text{式}$
舗装工 $A=508.6\text{m}^2$



発 注 者： 西都土木事務所

⑮ 工 事 名： 令和4年度 4道路災 第58号
県道西都南郷線 道路災害復旧工事 外2箇所

— 完成写真 —

施 工 者： 株式会社仁科産業

工事概要： 第58号
復旧延長 $L=21.0\text{m}$
ブロック積 $A=40\text{m}^2$
第559号
復旧延長 $L=17.5\text{m}$
大型ブロック $A=92\text{m}^2$
第705号
復旧延長 $L=8.7\text{m}$
ブロック積 $A=36\text{m}^2$

発 注 者： 西都土木事務所



⑯ 工 事 名： 令和4年度 交付建設 第936-4-2号
東郷西都線 松尾工区 道路改良工事 その2

— 完成写真 —

施 工 者： 株式会社増田工務店

工事概要： 延長 $L=62.0\text{m}$
幅員 $W=5.5(7.0)\text{m}$
鉄筋挿入工 $N=85\text{本}$
ルートパイル工 $N=49\text{本}$



発 注 者： 高鍋土木事務所

発注機関長賞（県土整備部）

- ⑰ 工 事 名： 令和4年度 防安総小 第932-9-1号
耳川小野田地区 河道掘削工事および幸脇地区
宅地・道路嵩上げ工事

施 工 者： 有限会社菊池建設

工事概要： 小野田地区
河道掘削 L=87.0m
V=9,003m³
幸脇地区
盛土工 V=432m³
舗装工 A=358m²
排水工 L=186.0m

発 注 者： 日向土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑱ 工 事 名： 令和4年度 防安広域 第99-1号
五十鈴川小松地区ほか3箇所 河道掘削工事

施 工 者： 甲勝建設株式会社

工事概要： 五十鈴川
掘削工 V=14,318m³
庄手川
掘削工 V=128m³
丸バエ川
掘削工 V=119m³
中山川
掘削工 V=40m³

発 注 者： 日向土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑲ 工 事 名： 令和4年度 4道路災 第67-2号
国道327号 切通工区ほか1箇所 道路災害
復旧工事

施 工 者： 有限会社栄幸産業

工事概要： 延長 L=15.0m 幅員 W=7.5m～7.6m
切土工 V=66m³ 切土法面整形工 A=359m² 現場吹
付法砕工 A=359m² 植生マット工 A=256m² 仮設
防護柵工 L=40.0m 舗装版切断工 L=67.2m 舗
装版取壊工 V=1.0m³ アスファルト舗装 A=13m²
路盤工 A=13m²

発 注 者： 日向土木事務所

－ 完成写真 －



- ⑳ 工 事 名： 令和4年度 防安街路 第10-1-2号
安賀多通線 構口工区 電線共同溝工事その2

施 工 者： 上田工業株式会社

工事概要： 電線共同溝工 L=101.6m
W=15.0(25.0)m
土工 V=685m³
管路工 L=738m
ハンドホール N=3基
プレキャストボックス N=2基
排水工 L=96.3m
舗装工 A=843m²

発 注 者： 延岡土木事務所

－ 完成写真 －



発注機関長賞（県土整備部）

- ⑳ 工 事 名： 令和4年度 防安街路 第10-1-5号
安賀多通線 構口工区 電線共同溝工事その5

－ 完成写真 －

施 工 者： 日新興業株式会社

工事概要： 電線共同溝工 $L=252.8\text{m}$
 $W=15.0(25.0)\text{m}$
土工 $V=68\text{m}^3$
管路工 $L=1,758\text{m}$
ハンドホール $N=4$ 基
プレキャストボックス $N=3$ 基
排水工 $L=114.0\text{m}$
路盤工 $A=61\text{m}^2$
道路付属施設工 $N=1$ 式

発 注 者： 延岡土木事務所



- ㉑ 工 事 名： 令和4年度 防国橋補 第41-10-1-1号
国道218号 槇峰大橋ほか1橋 耐震補強工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 株式会社田邊建設工業

工事概要： 槇峰大橋 橋長 $L=330\text{m}$
幅員 $W=7.25(10.75)\text{m}$
P3橋脚コンクリート巻立工
 $H=9.1\text{m}$ $V=32\text{m}^3$
天馬大橋 橋長 $L=320\text{m}$
幅員 $W=6.5(11.5)\text{m}$
延長 $L=28.4\text{m}$
繊維シート設置工 $A=227\text{m}^2$

発 注 者： 延岡土木事務所



- ㉒ 工 事 名： 令和4年度 防安港湾 第82-3-4-1号
宮崎港 -3.5m泊地浚渫工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 大和開発株式会社

工事概要： 宮崎港
-3.5m泊地浚渫
 $A=14,934\text{m}^2$
 $V=11,032\text{m}^3$

発 注 者： 中部港湾事務所



- ㉓ 工 事 名： 令和4年度 県単維持 第21-2-1号
みやざき臨海公園 南ビーチ水中掘削工事

－ 完成写真 －

施 工 者： 株式会社西條組

工事概要： 水中掘削 $V=5,930\text{m}^3$
陸上掘削 $V=10,012\text{m}^3$

発 注 者： 中部港湾事務所



発注機関長賞（県土整備部）

②⑤ 工 事 名：令和4年度 改修重要 第3-70-1-2号
油津港 西沖防波堤 ケーソン据付工事（その
2）

施 工 者：富岡建設株式会社

工事概要：延長 $L = 19.3\text{ m}$
ケーソン据付 $N = 1\text{ 函} (1841\text{ t})$
ケーソン上部コンクリート $V = 152\text{ m}^3$
被覆・根固ブロック据付 $N = 272\text{ 個}$
洗堀防止マット敷設 $N = 17\text{ 枚}$

発 注 者：油津港湾事務所

－ 完成写真 －

